

会 議 要 旨

会議名	平成24年度 第1回 館山市都市計画審議会
開催日	平成24年8月22日 午後2時00分～午後3時10分
開催場所	館山市コミュニティーセンター 第2学習室
出席者	都市計画審議会委員 12名 館山市 建設環境部長 事務局 (都市計画課職員5名)
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者	0名
会議概要・結果等	<p>議 事</p> <p>(1) (仮称) 船形バイパスの計画案について</p> <p>(2) 館山都市計画道路の変更 (千葉県決定) について</p> <p>① 3・5・10 船形館山港線 (名称, 起点の変更)</p> <p>(3) 館山都市計画道路の変更 (館山市決定) について</p> <p>① 3・4・3 船形川名線 (廃止)</p> <p>② 3・5・13 船形館山線 (名称, 起点, 終点, 線形の変更)</p> <p>(4) 館山都市計画公園の変更 (館山市決定) について</p> <p>② 2・2・2 根岸公園</p> <p>(5) 都市計画変更のスケジュール</p> <p>会議概要</p> <p>資料に基づき, 仮称船形バイパス関連の都市計画変更に関する事前説明を行った。</p> <p>主な質疑</p> <p>質問① 船形バイパスは館山市と南房総市にまたがる計画である。バイパス整備にあたり, 南房総市側で重大な障害が発生した場合, 連絡はされるのか。</p> <p>回答① 整備計画は平成26年から平成33年までということで千葉県, 南房総市を含め調整をしている。今後も県との連絡を密に取り合い, 南房総市部分で何か問題が発生した場合は, 都市計画審議会等の場で報告したい。</p> <p>質問② 平成16年に策定された県の都市計画区域マスタープランにおける都市づくりの基本理念に「防災拠点の整備などに取り組む」という文言があるが, 防災拠点の整備を行う上で, 船形バイパスはおおよそ海拔何mのところの造られるのか。</p> <p>回答② 標高は, それぞれ1.8m (ふれあい市場北東交差点), 2.6m (ふれあい市場北西交差点), 5.4m (船形小正門付近), 18.7m (仲尾川橋) となっている。</p> <p>質問③ 現在の都市計画道路3・5・10船形館山港線は文化財にかかっているようだが, 文化財とは具体的に何か。</p> <p>回答③ 赤山地下壕のこと。</p> <p>質問④ 工事期間が平成33年度までということだが, 用地買収が済めば工事自体は直ぐにできると考える。ここまで時</p>

間がかかるというのは財政的理由からか。

回答④ 船形バイパスは、100名弱の地権者が関わってくる。土地だけで済む人もいれば家屋がかかる人もいる。家屋の補償、移転先の問題もあり、それらに時間を費やすと見込んで平成33年までとしている。金額的なものについては、年度ごとに事業の用地交渉の進捗、話し合いを考慮して国へ要望をしていく。

質問⑤ 財政的なことだがこの船形バイパスだけではなくて、市全体のことを考えるとこれからごみ焼却施設の分担金がかかりかかってくる。財政的に厳しいと思うが、その辺の見込みは大丈夫なのか。

回答⑤ 確かに大規模事業の計画が館山市にはいくつかある。市内全体の道路整備を順次進めてきた中で、今回船形バイパスということになった。当然国の補助もいただく。財政的な部分については長期計画を割りびいた中でやっていく。

質問⑥ 計画通り平成33年完成となると、館山市でも高齢化が進み、市に住んでいる方の平均年齢が50歳代後半～60歳近くなる。人口も微減し、魚の漁獲高も徐々に右肩下がりという傾向の中、道路が完成する頃には単なる通過路になってしまい、地域の活性化として非常に疑問を感じる。その辺りの見込みはどうか。

回答⑥ 富浦ICに直接繋がることで、陸揚げする港としての価値は非常に上がるだろうと漁港の方から聞いている。また、船形館山港線、那古船形駅前を通して船形ふれあい市場に下りることが現状ではない中、海岸道路を通るようになることで色々な策を練ることができるようになると期待している。通り道にあることで活性化の可能性は上がるものと期待している。

質問⑦ 道路の構造については南房総市側の部分についても、館山市が予定している道幅で施工するという事なのか。

回答⑦ 千葉県からは車道部が7mで両側に3.5mの歩道、計14mの幅員ということで、館山市で行うものと同じ構造と聞いている。

質問⑧ この船形バイパスは南房総市にも関ることであり、館山市側は完成したが、南房総市側がまだ完成していないといったことがあってはならないと考える。南房総市と完成に向け、確約書を結ぶなど書類上の約束は交わさなければいけないのではないか。

回答⑧ 平成23年の9月に、千葉県知事へ船形バイパスの整備要望を秋山県議、館山市長、石井南房総市長同席のもと行っている。確約書については、行政間になるので結ぶのはなかなか難しい。千葉県の改良区間については、路線の測量を開始したと安房土木事務所から聞いている。千葉県と連絡を密にしながら事業の擦り合わせ、進捗状況の整合性を図り、船形バイパスの整備に努力していく。